

# 第1回 交流大会要項

○ルール : フルコンルール

## 1. 審判基準

審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定は、すべて審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、4名の審判員のうち2名以上の判断で有効とする。1名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、4名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長と審議委員が協議の上、審判長が変更を指示することができる。

## 2. 試合時間

幼児クラス 本戦1分→延長1分(マストシステム)

小学生クラス 本戦1分30秒 → 延長戦1分(マストシステム)

## 3. 防具

ヘッドガード 拳サポ スネ ヒザ 金的・女子胸ガード持込み可とする。その他防具の貸与なし。ヘッドガード・拳サポ・スネ・ヒザ・金的着用義務。道着の内側に着用すること。※女子胸ガード・女子アンダーガードは任意であるが着用の推奨とする。※女子胸ガード:規制なしであるが、イサミ製 L-8303、L-711、TT-28、又は同等素材・形状のもの。女子アンダーガードは、イサミ製 SS-6 又は同等素材・形状のもの。※防具類は布製を使用すること、拳サポの薄い物や劣化している物は使用不可、拳サポーターはイサミ又はマーシャルワールド製同一形状品を使用する。皮革製のサポーターは使用不可。※女子選手のインナーT シャツの色は白限定とします。※テーピング類は大会ドクター(救護士)のチェックを受けたもののみ許可する。ハードテープ使用不可。

## 4. 一本勝ち

1反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒したとき、又はダメージにより、相手が泣き、戦意喪失したと判断した場合。

技あり2本で合わせ一本勝ちとする。

## 5.技あり

- 1 反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手の動きが一時的に止まった時、又は大きく崩れた場合、体がくの字になった場合、防戦一方になった場合、足をひきずる様な場合。
- 2 ノーガードで相手に上段の蹴り技がヒットした場合(但し、小学生以下は上段膝蹴り禁止)
- 3 前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。
- 4 胴廻し回転蹴りをおかし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。
- 5 全く同じタイミングに両選手の蹴り技が決まった場合は相打ちとし、両方技ありとしない。

## 6.判定

一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。

判定の優先順位は、1 技あり 2 ダメージ 3 有効打 4 積極性 とする。但し、注意がある場合は、「審判判定基準」の通りとする。判定が決まらない場合は延長戦を行いマストシステムで決定する。

## 7.反則

- 1 手、肘による顔面、首、のどへの攻撃。
- 2 金的蹴り、頭突き。
- 3 上段膝蹴り(ヒットした場合、注意が与えられる)
- 4 倒れた相手への攻撃。
- 5 背後からの攻撃。
- 6 故意に場外に出ること。
- 7 掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。
- 8 頭や胸をつけての攻撃。
- 9 技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)
- 10 倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1 試合 1 回までとし(本戦 1 回、各延長 1 回)、それ以上繰り返す場合は反則とみなす。
- 11 相手の技を殺す目的で、むやみに相手に体を寄せること。
- 12 その他、審判が反則とみなした場合。
- 13 反則行為には注意が与えられ、注意 4 回で失格となる。注意は先に反則を仕掛けた方に与えられる。

14 悪質な反則の場合は 1 回だけで、失格もありうる・

15 鎖骨への手刀・エンピによる打撃

## 8.減点

1 注意を 2 回与えられたとき。2 悪質な反則を行ったとき。3 審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。4 減点 2 で失格となる。格 1 減点 2 となったとき。2 審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対する「効いた」「倒せ」等の応援は失格になる可能性があります。

2 試合中(主審が試合終了の合図を行う前までに)嘔吐したとき

3 出場時刻に遅れ、出場しないとき。

4 応援態度が悪質な場合も失格となることがある。

5 当日の計量により、規定の体重を超えているとき。(空手衣を着用し 2kg 以上超えた場合(失格))

6 申告体重と計量体重に 5kg 以上の差がある場合、失格もありえる。

7 反則により相手が試合続行不能になったとき。

8 その他 判定に対する抗議は一切認めません。

○入場者数 : 各道場・ジム 1 名のみ※外からでも観覧できるようにいたします。

○感染症対策 : マスク着用・アルコール消毒・大声での会話に声援は御控えください・体調のすぐれない方の来場禁止・熱が有る方の来場禁止・濃厚接触者との交流が有った方の来場禁止・飲み物、食べ物のゴミは各自お持ち帰りください。その他独自の感染予防対策を実施願います。

○控え室 : 3 密を避けるために外となりますので、防寒対策をお願いいたします。